サルによる農作物被害状況及び対策

【農作物被害】

サルの農作物被害金額は全体としては少ないが、**サルの群れが生息している唐津地域**においては、**群れが侵入した圃場で、果樹（ハウスみかんなどかんきつ類）、野菜（いちごなど）の食害や破損等が発生**し、被害を受けた農家にとっては**被害が甚大**となり、**生産意欲の減退**を招いている。

○佐賀県におけるサルによる農作物被害金額の推移　　（単位：百万円、頭）

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
被害金額	2.9	11.2	2.4	3.0	3.5	20.9	11.3	15.1	6.6	5.7	6.8	4.7	3.9	5.4	4.0	7.7	2.8	3.0	16.8
捕獲頭数	63	12	6	15	27	18	50	106	137	155	62	76	51	76	56	60	26	13	20

【被害対策】

「侵入防止対策」

○サル用電気牧柵の設置拡大
　【国庫事業等の活用】
○集落による追い払いの実施
○重点集落を核とした対策の推進
　新たな侵入防止施設（サル・イノシシの複合対策）の実証

「捕獲対策」

群れが分裂しないような捕獲が必要

①群れ全体を捕獲するのは困難
②捕獲のみに頼ると、消滅した群れや個体数が減った群れの代わりに隣接群が新たな加害群になる。

群れの実態把握とモニタリングが必要

「棲み分け対策」

○重点集落を核とした対策の推進
　・サル等の餌となる収穫残渣を放置しないなど

群れの実態調査を実施（唐津地域協議会）

発信器を活用したサルの実態調査の実施（H24年度～）

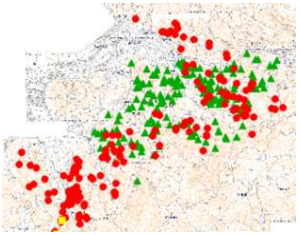
成獣メスに発信器を設置



⇨ サルの群れを追跡



⇨ 群れ毎の生息域や行動パターンを調査



国庫事業（ソフト事業1/2補助）を活用。補助残の半分ずつを県と唐津市で負担